

〈いわき地方振興局長賞〉

税の使われ方について学んだこと

いわき市立四倉中学校

1年 西山 そよ花

私達が納めた税は、公共施設など形を変えて私達の生活に使用されていることを知りました。

私は、もし納税という仕組みがなかったら、私達の生活はどうなってしまうのだろうと考えてみました。例えば、急病や大けがなどで119番に電話をして呼んだ救急車にタクシーみたいな料金メーターがついていたりする。買い物に行くための生活道路を通るのに通行料金がかかってしまう。ごみ収集は、一袋ごとに料金がかかってしまったり、病院での会計がすべて自己負担、警察も事件や事故ごとに料金が決められて依頼した人が支払うなど私達の生活が十分に守られなくなってしまうのではないかと思いました。

税金をなぜ納めなければならないんだと疑問に思う人もいると思います。しかし、その税金のおかげで、救急車に料金メーターはついていないし、生活道路には通行料がかからないし、ごみ袋も収集の日の朝に置いておけば無料で収集してくれるし、病院での会計は一部の自己負担ですむし、事件や事故で警察を呼んでも料金を支払うことはありません。

また、ふるさと納税という税の納め方もあることも知りました。この税は、自分が住んでいる市町村以外の自治体に税を納めるという仕組みです。納める自治体は自由に選べて、納めた額に応じて次の年の住民税を低くおさえることができる上にお礼の品をもらえるので人気があるそうです。私の家には、春には宮城県山元町からいちご、夏には北海道夕張市からメロン、冬には静岡県浜松市からみかんなどいろいろなものが届くので両親に訪ねたところふるさと納税をしているからとのことでした。納められた税は、その自治体でさまざまな目的で役立てられるそうです。また、大きな災害が起きた際には、お礼の品を受け取らない支援金という納め方もあり、最近よく起きている豪雨災害などにも大きく役立てられているそうです。このように、ふるさと納税は、税を納める人にも受け取る自治体側にもそれぞれ利点があるのでとても良い仕組みであり人気があるのだと思いました。

税は収入のある大人の人だけが納めているわけではありません。私達中学生が学校生活に必要な筆記用具、制服、体操着の購入にも消費税という税がかかります。お小づかいで買うお菓子やジュースにも消費税はかかります。私達中学生だって小さな納税者です。これからは、この消費税も私達の生活に役立てられるのだと思いながら、買い物をしたいと思いました。

私は今回、税の納められ方や使われ方について学びました。もし、税がなければ私達

の暮らしは不便になってしまいます。みんなが税を正しく納めて、みんなが安心して暮らせる良い社会になればいいなと思いました。